

平成21年度「新目標チャレンジ」表彰課所

■選定・評価の考え方

- ・新目標チャレンジに積極的に取り組み、顕著な成果を収めた課所を知事表彰
- ・評価の視点：①目標設定の適切性、②目標達成に向けた組織(職員)の努力、③目標達成度(成果)

■選定の流れ

- ・各部局から、「施策推進の部」「県民サービス・事務改善の部」ごとに1～4課所を順位を付して総務部へ推薦
- ・推薦課所の中から、審査委員会（総務部理事，総務部次長，企画部次長等で構成）の審査を経て表彰候補案を選定

■表彰課所数

部門	賞	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
施策推進の部	優 秀	2	3	4	2
	努 力	5	6	2	5
県民サービス・事務改善の部	優 秀	1	1	2	0
	努 力	1	2	3	2
計		9	12	11	9

《施策推進の部》

【優秀賞】（産業政策課）中性子の産業利用の推進

目標数値等	実績
①研究開発等のために中性子を利用する中小企業のJ-PARC課題採択件数： <u>4件</u> [⑩4件（平成20年度採択決定件数）]	① <u>7件</u> （平成21年度採択決定件数）
②県内中性子利用連絡協議会の参加企業の数： <u>150企業</u> [⑩114企業]	② <u>210企業</u> （平成21年度末見込み） [2月末現在：208企業]
（表彰理由）	
○ 専門性の高さから中小企業にとってハードルが高いJ-PARCの利用について、研究課題採択件数を昨年度の4件から7件に増加させた実績を評価	
○ 利用促進を図るため、240に及ぶ企業を訪問し、社長等決定権のある立場の方に直接説明するとともに、関係機関と連携しながら、訪問企業の課題解決のためにきめ細かな相談助言を行うなど、J-PARCの今後のさらなる利用促進に向けた職員の努力の成果	

【優秀賞】（園芸流通課）市場等からの提案にもとづいた新産地の育成

目標数値等	実績
市場卸売会社、量販店等の提案による消費者ニーズに対応した新産地づくり： <u>15産地</u> [⑩12産地]	<u>16産地</u>
（表彰理由）	
○ 多様化する消費者や実需者ニーズに対応するため、市場卸売会社や量販店等の提案を基に、市町村・JA等の関係機関と一体となって取り組み、新たに16産地を育成したことは大きな成果	
○ また、需要の動向を見極め、重点的に推進する品目を定めるなど、改善を加えながらここ数年新産地づくりに継続的に取り組んだことが、その周辺地域も巻き込み地域農業を活性化させ、本県農業産出額が15年ぶりの全国第2位になることができた一助にもなったものと考えられる。	

【努力賞】（企画課）ハッスル黄門を活用したイメージアップ

目 標 数 値 等	実 績
①メディア訪問件数： <u>26件</u>	<u>29件</u> (3/1現在)
②メディアへの掲載件数： <u>12件</u>	<u>55件</u> (3/1現在)
(表彰理由) ○ 本県の大きな課題であるイメージアップや魅力度の向上のため、ハッスル黄門を活用し、観光地や特産品など本県の魅力をメディアを通じて全国にPRしたことは、本県のイメージアップに効果的な取組 ○ 今回、目標を大きく上回るメディアへの掲載件数が達成できたのは、メディアを数多く訪問した職員の努力の成果であり、また、若手職員によるワーキングチームを設置し、担当以外の他部局の職員も参加するなど、この取組を通じて本県をPRしようとする意識が全庁的に広がっている点も評価	

【努力賞】（環境政策課）

「大好きいばらきエコチャレンジ2009」の参加世帯5,000世帯を目指す

目 標 数 値 等	実 績
参加世帯数： <u>5,000世帯</u>	<u>5,570世帯</u>
(表彰理由) ○ 県民一人ひとりにエコライフの意識を持たせるために行う「大好きいばらきエコチャレンジ2009」普及啓発のため、大型量販店や各種団体、学校等の協力を得て積極的に参加を呼びかけ、目標を上回る参加世帯数が確保できたことは、職員の努力の成果 ○ また、参加世帯全体の排出ガス削減効果を「一般家庭135世帯分の年間排出量を削減」と推計・公表するなど、取組効果を分かりやすく周知することで、今後の普及啓発が図りやすくなるものと評価	

【努力賞】（福祉指導課）福祉・介護職員人材確保関係事業に係る新規雇用者数

目 標 数 値 等	実 績
新規雇用者： <u>200名</u>	<u>200名</u> (平成21年度末見込み)
※当初100名を目標としたが、新規雇用者受入を希望する施設が多いことから目標値を2倍に拡大。	[3/12現在：183名]
(表彰理由) ○ 県内ハローワークや大学、短大、専門学校などを数多く訪問するほか、様々な広報媒体を通じての事業のPRを実施し、賃金水準や労働環境から就業者の確保が困難である福祉・介護職員について、新たに約200人の雇用者の確保が実現できることは大きな成果 ○ また、今回は臨時的な雇用ではあるが、研修・雇用一体型事業として、就業者は働きながらホームヘルパー2級の資格が取得できるなど、期間満了後も継続して就業することが期待できることから、不足する介護・福祉職員の安定的な雇用にもつながる取組と評価	

《県民サービス・事務改善の部》

【優秀賞】（廃棄物対策課）産業廃棄物の県内搬入協議における審査処理期間の短縮

目 標 数 値 等	実 績
審査処理期間： <u>2週間</u> 〔⑩約1.5ヶ月〕	<u>12.0日</u> （H21.5月～H22.2月の 実平均処理期間）
<p>（表彰理由）</p> <p>○ 緊急雇用制度で2名増員し滞留案件を処理するとともに、審査処理期間を短縮するため、内部対応マニュアルの作成や疑義案件に対しては早期に対応するなど、様々な対策に組織をあげて取り組み、その結果、目標期間を達成するとともに、近県の審査処理期間と比べても短い処理期間とすることができた。</p> <p>○ また、併せて制度改善にも取り組み、協議不要ケースの設定や添付書類の簡素化、緊急の協議予約への対応など、申請者の事務手続きの軽減に配慮している点も評価</p>	

【努力賞】（高萩工事事務所）危険樹木箇所解消

目 標 数 値 等	実 績
路側樹木の張り出しにより今後危険となりうる「危険樹木箇所」の解消 ：対象箇所の <u>20%解消</u> （6箇所／30箇所）	<u>50%解消</u> （15箇所／30箇所）
<p>（表彰理由）</p> <p>○ 樹木所有者は伐採の必要性は承知しつつも、作業に危険性や労力が伴うため対応に消極的な者も少なくない状況である中、全所を上げて樹木所有者への協力依頼に取り組むとともに、新たに道路占用者（東電、NTT）にも伐採の協力を求める、などの工夫した取組も行い目標を上回る実績を達成</p> <p>○ また、加えて将来危険となる箇所を早期に予見し、樹木所有者が伐採に応じやすいよう、早い段階から伐採の協力を依頼する取組も行うなど、道路管理を行う他の事務所への波及効果が期待できる点も評価</p>	